

3 事業実績報告書

(1) 難病相談・支援センター事業

ア 設置年月日

イ 利用時間

平日 9:00 ~ 16:00
土曜日 : ~ :
休祝日 : ~ :

(注) 事業内容に応じて利用時間が相違する場合には、それぞれ記載すること。

ウ 従事者内訳

事項	配置人員	職種	設置月数	備考
難病相談・支援員	2	保健師 看護師	H16年4月～ (132ヶ月) H17年4月～ (114ヶ月)	相談事業、研修会開催 医療相談会開催、等
事務職員				
その他	1	准看護師	H18年6月～ (106ヶ月)	コミュニケーション支援専 任サポーター

(注) 備考欄には、従事者の職務内容を記載すること。

エ 活動内容

① 相談者・相談方法別相談件数 (延べ件数)

事項	相談者				相談内容
	患者	家族	その他	計	
電話相談	540	136	306	306	<u>延べ相談内容件数は、1323件。</u> 相談内容の上位5つは、 ① 療養環境支援態勢 ② 就労 ③ 療養生活全般 ④ 医療機関・医師の選択 ⑤ 経済 に関する相談
面談	40	4	3	47	
メール	91	6	129	226	
その他	22	3	14	39	
計	693	149	540	1294	

② 相談者別・相談件数が多い疾患 (上位5つ)

	疾患名	述べ件数
患者	1 顕微鏡的多発血管炎	65
	2 シェーグレン症候群	64
	3 抗リン脂質抗体症候群	51
	4 多発性硬化症	47
	5 クロウン病	40
家族	1 筋萎縮性側索硬化症（ALS）	19
	2 クロウン病	17
	3 多発性硬化症	14
	4 顕微鏡的多発血管炎	9
	5 クロウン病	8
その他	1 筋萎縮性側索硬化症（ALS）	122
	2 多発性硬化症	43
	3 表皮水疱症（先天性表皮水疱症）	13
	4 重症筋無力症	12
	5 抗リン脂質抗体症候群	8

③主な相談内容（上位5つ）

主な相談内容	述べ件数
1 療養環境支援態勢	198
2 就労	180
3 療養生活全般	159
4 医療機関・医師の選択	91
5 経済	84
<p>（備考）</p> <p>1. 療養生活支援態勢に関する相談では、支援者間の連携に関するものが多かった。具体的には、療養者が自己管理をする上で、病気や治療について正しい情報を主治医から得るために相談者と主治医間の調整をしたケース、障害年金や身体障害者手帳を申請するために主治医に目的を伝え診断書作成を依頼するための連絡、就労支援の対象の相談者を地域の支援機関へ繋ぐための就労支援機関との連携、支援者から難病療養者への支援について助言を求めるなどの相談があった。</p> <p>2 就労に関する相談では、病状や体調に合わせた労働条件について、雇い側との調整に関する事、自己管理方法など体調の調整に関する事、障害者職業センター、障害者就労・生活支援センター、ハローワークの利用方法や支援依頼に関する事などの相談があった。</p> <p>3. 療養生活全般に関する相談では、日常生活上の悩みや話すことで気持ちを整理したい等の相談があった。具体的には、主治医や家族へ相談するに至らないが、誰かに今の気持ちや悩みを聞いてもらいたい、行政機関に不満を伝えたが、満足がいくように取り合ってもらえなかったので愚痴を言いたいなどの相談があった。</p> <p>4. 医療機関・医師の選択に関する相談では、特に炎症性腸疾患、神経筋疾患の専門医の情報提供を求める相談があった。確定診断後も、セカンドオピニオンを求めるために、県内外の専門医に関する情報提供を求めるなどの相談があった。</p> <p>5. 経済に関する相談では、障害年金の申請の可否や申請方法、申請書の記述方法などに関する相談があった。主治医に診断書作成を依頼する際に、診察に同席することもあった。</p>	

(地域交流会等支援)

事 項	参加者数	内 容
平成26年度日本ALS協会群馬県支部総会 【参加】		日時：平成26年6月15日(日)午後1時30分 場所：群馬県社会福祉総合センター 2階 203 A/B会議室 講演①：「ALS診療と研究の最近の話題」 講師：池田 佳生 先生(群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学 教授) 講演②：「ALS療養者が使えるサービスについて」 講師：平良 あゆみ 先生(安中保健福祉事務所 保健師)
2014 JPA関東ブロック交流会 in 群馬 【参加】		日時：平成26年9月13日(土)午後1時～3時30分 場所：前橋市総合福祉会館 2階 社会適応訓練室 講演①：「難病の新たな医療費助成制度について」 講師：宮崎 靖子 先生(厚生労働省健康局疾病対策課 主査) 川田 裕美 先生(厚生労働省健康局疾病対策課 主査) 講演②：「難病対策新法の課題と患者会の果たす役割」 講師：水谷 幸司 先生(JPA事務局長)
群馬IBD友の会第14回医療講演会 【参加】		日時：平成26年9月13日(土)午後2時～5時 場所：ニューサンピア高崎 大ホール「赤城」 講演：「群馬大学病院における炎症性腸疾患の外科治療」 講師：堤 荘一 先生(群馬大学大学院医学系研究科病態総合外科学 講師)
群馬県難病団体連絡協議会 【協力】		日時：平成26年10月5日(日)午後1時～3時 場所：安中市スポーツセンター(安中市安中1531-1) 内容：難病よろず相談室
群馬県難病団体連絡協議会 【協力】		日時：平成27年2月1日(日)午後1時～3時 場所：太田市福祉会館(太田市浜町2-7) 内容：難病よろず相談室
群馬県脳脊髄液減少症患者会 【協力】		日時：平成26年11月18日(火) 場所：草津町役場 内容：病気についての勉強会
群馬県脳脊髄液減少症患者会 【協力】		日時：平成26年12月9日(火) 場所：東吾妻町役場 内容：病気についての勉強会
日本ALS協会群馬県支部【協力】		内容：ホームページ管理、更新

(注) 内容欄には、実施期日、時間、対象者及び具体的な実施内容を記載すること。

(就労支援)

就労に関する相談は、延べ件数180件相談全体の13.6%（前年比68件増、前々年比では112件増で約2倍）。

主な相談内容は以下の通りで、相談支援員は療養と就労の両立のための助言や情報提供、関係支援機関との連携（電話、メール、支援会議、面談への同席）を行った。

- ①労働条件、就労の継続（病気を発病し治療中だが、現在の仕事を継続すること、職場への説明方法に関して、等）(79件)
- ②就職活動（病状を自己管理しながら自分にできる仕事を探すこと、面接時に病気を告知すること、ハローワークでの対応方法に関して、等）(53件)
- ③就労時の体調の調整（体調を崩したときに上司に病気を告知すべきか、等）(21件)
- ④難病に対する理解、病気を理由とした不当な扱い（病気を理由として就労の継続が困難な状況になった時の職場とのやりとりに関して、等）(7件)
- ⑤その他、経過報告等(20件)

(注) 実施回数が多かった就労支援内容の上位5つを記載するとともに、()に件数を記載すること。

(講演・研修会)

事項	参加者数	内容
対象者：患者会相談員、難病相談支援センター相談支援員、患者、家族、支援者等		
合同研修会① 事例検討会	6名	日時：平成26年5月29日（木）午後10時～12時 場所：群馬県社会福祉総合センター 201会議室 内容：事例検討
合同研修会② 研修会	38名	日時：平成26年8月17日（日）午後1時～3時 場所：群馬県社会福祉総合センター 203AB会議室 対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員 群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員 2名、他希望者 内容：「ピア・サポートの社会学～そこにこそ希望の糸口があるのではないか」 講師：伊藤 智樹 先生（富山大学人文学部 准教授、社会学博士）
合同研修会③ 研修会	23名	日時：平成26年10月18日（土）午後1時30分～3時30分 場所：群馬県社会福祉総合センター 501会議室 対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員 群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員 2名、他希望者 内容：「電話相談の受け方」 講師：友田 淑子 先生（群馬いのちの電話 講師）
合同研修会④ 研修会	31名	日時：平成27年2月9日（月）午後1時30分～3時30分 場所：群馬県社会福祉総合センター B01会議室 対象：群馬県難病団体連絡協議会 相談員 6名、会員 群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員 2名、他希望者 内容：「難病のための新しい制度について」 講師：牛込 久美子 先生（群馬県健康福祉部保健予防課疾病対策係 主幹）

対象者：難病担当保健師等

難病対策専門研修会①
(研修)

日時：平成26年6月27日(金)午後1時30分～4時
場所：群馬県庁 151会議室
内容：各保健福祉事務所の担当者より提出された事例について検討
内容：「保健所保健師の業務について」
「災害時個別避難計画の策定について(高崎市保健所での取り組み)」

難病対策専門研修会②
(研修)

日時：平成26年7月31日(木)午前9時15分～午後4時
場所：群馬大学アメニティーホール2階 カンファレンス室3
対象：中核市保健所保健師、保健福祉事務所保健師、保健予防課関係者
群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員
群馬県神経難病医療ネットワーク 神経難病医療専門員
内容：「神経難病についての基礎知識」
「ALSの嚥下障害に対する専門的看護支援」
「患者支援センターにおける神経難病患者支援」
「事例紹介」
「意見交換会」

難病対策専門研修会③
(研修)

日時：平成26年10月15日(火)午後1時30分～午後4時30分
場所：群馬県社会福祉総合センター 203A/B会議室
対象：中核市保健所保健師、保健福祉事務所保健師、保健予防課関係者
群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員
群馬県神経難病医療ネットワーク 神経難病医療専門員
内容：「群馬県における神経難病療養者のコミュニケーション支援について」(川尻)
「文字盤を使ったコミュニケーション支援」(岡田)
「神経難病療養者のコミュニケーション支援の実際」

難病対策専門研修会④
(事例検討)

日時：平成26年10月21日(火)午後1時30分～4時
場所：群馬県庁 141会議室
対象：中核市保健所保健師、保健福祉事務所保健師、保健予防課関係者
群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員
群馬県神経難病医療ネットワーク 神経難病医療専門員
内容：各保健福祉事務所の担当者より提出された事例について検討
助言者：牛込 三和子(群馬パース大学 教授)
飯田 苗恵 先生(群馬県立県民健康科学大学 准教授)

難病対策専門研修会⑤
(事例検討)

日時：平成27年3月16日(月)午後1時30分～4時
場所：群馬県庁 141会議室

	<p>対象：中核市保健所保健師、保健福祉事務所保健師、保健予防課関係者 群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員 群馬県神経難病医療ネットワーク 神経難病医療専門員</p> <p>内容：各保健福祉事務所の担当者より提出された事例について検討</p> <p>助言者：牛込 三和子(群馬パース大学 教授) 飯田 苗恵 先生(群馬県立県民健康科学大学 准教授)</p>
--	--

(注) 内容欄には、実施期日、時間、対象者及び具体的な実施内容を記載すること。

難病（特定疾患）医療講演会			
<p>内容：医療講演 開催時間：14：00～15：30 開催場所：群馬県社会福祉総合センター *医師の所属は、群馬大学医学部附属病院</p>			
対象疾患	参加人数	開催日	講師
脊髄小脳変性症	患者 8名 家族 9名 その他 4名	平成26年10月30日(木)	池田 佳生 (神経内科)
サルコイドーシス	患者 17名 家族 5名 その他 1名	平成26年11月29日(土)	高間 典明 (循環器科)

(会議等)

<p>1) 平成26年度特定疾患医療給付等担当者会議 日時：平成26年4月15日(火)午後2時30分～ 場所：群馬県庁 292会議室 対象：中核市保健所保健師、保健福祉事務所保健師、保健予防課関係者 群馬県難病相談支援センター 難病相談支援員 群馬県神経難病医療ネットワーク 神経難病医療専門員 内容：難病対策事業について 主催：群馬県健康福祉部保健予防課</p> <p>2) 平成26年度障害者関係業務担当者会議 日時：平成26年5月29日(木)午後1時～3時30分 場所：群馬公社総合ビル 1階 西研修室 対象：労働局障害者関係業務担当者(群馬県産業経済部労働政策課、等) 議題：職業対策課説明、関係機関説明、その他 主催：群馬労働局職業安定部</p> <p>3) 平成26年度難病療養支援ネットワーク会議 日時：平成26年7月4日(金)午後1時30分～3時30分 場所：前橋市総合福祉会館 3階 第1・2会議室 対象：神経難病医療拠点病院・基幹協力病院の医療スタッフ、前橋市医師会、管内訪問看護ステーション、管外で市内のALS療養者を支援している訪問看護ステーション、人工呼吸器を使用している難病療養者を支援している居宅介護支援事業所、群馬県健康福祉部保健予防課、群馬県難病相談支援センター、群馬県神経難病医療ネットワーク、前橋市(健康増進課、障害福祉課、介護高齢課) 内容：①難病療養者の災害対策～群馬県災害個別プラン作成について～ ②事務連絡 前橋市保健所から報告(平成26年度難病関係事業計画等) ③その他</p>

主催：前橋市保健所

4) 難病相談・支援センター間のネットワーク支援事業企画運営部会

① 第9回

日時：平成26年6月12日（木）午後4時～5時30分

場所：公益財団法人 難病医学研究財団 会議室（東京都千代田区神田淡路町1-7）

議題：平成26年度事業進捗状況について、その他

② 第10回

日時：平成25年5月9日（木）午後3時30分～4時30分

場所：東京大学医学部総合中央館 3階333会議室（東京都文京区7-3-1）

議題：難病相談・支援センター間のネットワーク支援事業について

③ 第11回

日時：平成27年2月12日（木）午後3時30分～4時30分

場所：公益財団法人 難病医学研究財団 会議室（東京都千代田区神田淡路町1-7）

議題：平成26年度事業進捗状況について

平成27年度事業計画（案）について

5) 難病相談・支援センターネットワーク構築のためのワークショップ 【参加】

日時：平成26年10月16日（木）午前10時～午後3時30分

場所：東京大学医学部総合中央館 3階333会議室（東京都文京区7-3-1）

対象者：各都道府県難病対策担当者及び難病相談・支援センター職員

内容：ネットワークシステムの利用について

グループワーク「難病相談・支援センターの役割について」

講演：「相談援助職の記録の書き方～短時間で適切な内容を表現するテクニック」

講師：八木 亜紀子 先生（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 特命准教授）

6) 第1回 産業医・産業看護職の立場から難病患者・中途障害者の就労継続支援を考える研究会
～患者さんに寄り添う臨床医と患者会の立場から学ぶ課題と産業保健職への期待～

日時：平成26年11月22日（土）午後1時30分～5時

場所：国立国際医療研究センター国際医療協力局3階会議室（東京都新宿区戸山1-2-1）

（その他）

研修会協力等 【講師、助言者等として参加】

1) 平成26年度難病患者療養支援実務者研修会 【講義】

日時：平成26年9月18日（木）午後1時30分～4時

場所：ぐんまこどもの国児童会館 2階 多目的ホール

対象：訪問看護事業所看護職、居宅介護支援事業所の介護支援専門員、病院地域連携室の相談員
市町村及び保健福祉事務所の職員等

内容：「難病患者への心理的援助の実際」（川尻）

2) 難病相談会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症） 【助言者】

日時：平成26年9月26日（金）午後2時～4時

場所：藤岡保健福祉事務所 1階 会議室

対象：脊髄小脳変性症・多系統萎縮症で療養している方、その家族等

内容：①講演：「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症のリハビリ」

講師：安藤 匠 先生（多野藤岡医療事務市町村組合 訪問看護ステーション はるかぜ理学療法士）

②交流会

3) 平成26年度特定疾患医療従事者研修 【講義】

日時：平成26年10月27日（月）～28日（火）

場所：国立保健医療科学院（埼玉県和光市南2-3-6）

対象：各都道府県の難病相談・支援センター 相談・支援員 19名

内容：講義「相談記録の記録の意義」（川尻）
ワークショップ「電子相談票について」（川尻）

- 4) 平成26年度東京ジョブコーチ継続研修 【講義】
日時：平成26年10月31日（金）
場所：東京しごとセンター 5階 セミナー室（東京都千代田区飯田橋3-10-3）
対象：東京ジョブコーチ
内容：難病患者への就労支援
- 5) 平成26年度第4回就労支援スキルアップ研修
～難病を抱える方への就労支援について～【講義】
日時：平成26年12月4日（木）午後1時30分～4時
場所：群馬障害者職業センター 会議室
対象：障害者就労・生活支援事業者
内容：話題提供「難病を持つ方を対象とした就労支援について」（川尻）
- 6) 医療ソーシャルワーカー（MSW）就労支援研修 【講義】
日時：平成26年12月23日（火）
場所：情報オアシス神田セミナーハウス（東京都千代田区神田多町2-4）
対象：医療ソーシャルワーカー
内容：難病相談支援センターの機能～MSWとの連携（川尻）
- 7) 平成26年度難病患者等ホームヘルパー養成研修（基礎課程Ⅰ） 【講義】
日時：平成27年2月18日（水）
場所：群馬県庁 281会議室
対象：ホームヘルパー（難病入門・基礎課程Ⅰ受講者）
内容：「難病の基礎知識Ⅰ-①」（金古）
「難病患者の心理及び家族の理解」（川尻）
- 8) 平成26年度難病患者サポート事業「第4回患者会リーダー養成研修会」 【講義】
日時：平成27年1月24日（土）～25日（日）
場所：リフレフォーラム（東京都江東区大島7-37-11）
対象：患者会リーダーまたはその候補者
内容：「難病の療養相談について 基本的な相談の受け方/相談事例を通して」（川尻）

難病相談・支援員 連絡会（関東近県の難病相談支援員対象：事務局は群馬県）

- 1) 日時：平成27年3月16日（水）午後1時～4時
場所：東京都難病相談・支援センター（東京都渋谷区広尾5-7-1）
対象：関東（近隣の県を含む）の難病相談・支援センター 相談・支援員 他
参加人数：10名
内容：情報交換、研修
研修：「難病相談・支援センターの役割に関する研究（中間報告）」（川尻）
各センターより「難病相談・支援センターの現状と今後の課題」に関する報告
助言者：伊藤 美千代 先生（東京医療保健大学医療保健学部 講師）

群馬県難病対策事業への協力（保健福祉事務所が開催する療養相談会への協力）

- 1) 保健福祉事務所等が開催する療養相談会への協力
 - ① 療養相談会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症）
日時：平成26年6月5日（木）午前10時～12時
場所：前橋市総合福祉会館 2階 社会適応訓練室
内容：講演「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症と上手につきあうために」、交流会
講師：池田 佳生 先生（群馬大学医学部附属病院神経内科 教授）
対象者：療養者およびその家族
主催：前橋市保健所

② 難病講演会（潰瘍性大腸炎）

日時：平成26年8月2日（土）午後2時～4時
場所：渋川保健福祉事務所 会議棟 2階会議室
内容①：講演「潰瘍性大腸炎～病気の理解と療養のポイント～」
講師：奈良 真美 先生（奈良内科医院 院長）
内容②：講話「潰瘍性大腸炎の食事療法について」
講師：細谷 祐美子 先生（渋川保健福祉事務所 管理栄養士）
対象者：療養者およびその家族
主催：渋川保健福祉事務所

2) 平成26年度神経難病医療研修会への協力

日時：平成27年2月27日（金）午後6時30分～8時30分
場所：群馬県庁 281会議室
講演：「ALSなど神経難病ケアアプローチのポイントとQOL評価」
講師：中島 孝 先生（独立行政法人国立病院機構新潟病院 副院長）
座長：池田 佳生 先生（群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学 教授）
主催：群馬県、群馬県医師会

厚生労働省研究班への協力（厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業）

1) 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 【発表】

「難病患者への支援体制に関する研究」平成26年度班会議
日時：平成27年2月7日（土）
場所：JAビル カンファレンスホール（東京都千代田区平河町2-7-9）
演題：「難病相談・支援センターの役割について」
報告：「難病相談・支援センターの役割」

学会発表等

1) 第19回日本難病看護学会学術集会 【発表】

日時：平成26年8月29日（金）～30日（土）
場所：広島国際大学呉キャンパス（広島県呉市広古新開5-1-1）
テーマ：「難病患者の社会参加と生活設計」
演題：「全国の難病相談・支援センターにおける取り組みに関する実態調査」

2) 全国難病センター研究会 第22回研究大会（東京） 【発表】

日時：平成26年11月9日（日）
場所：新宿文化クイントビル 18階 オーバルホール（東京都渋谷区代々木3-22-7）
演題：「難病相談・支援センターの役割に関する研究について（中間報告）」

3) 第2回日本難病医療ネットワーク学会学術集会 【発表】

日時：平成26年11月14日（金）～15日（土）
場所：かごしま県民交流センター（鹿児島県鹿児島市山下町14-50）
テーマ：「難病医療～難病新法と地域からの視点～」
演題：第6回 難病患者のコミュニケーションIT機器支援ワークショップ
「群馬県難病相談支援センターのコミュニケーション支援ネットワーク事業
～地域の支援資源の「橋渡し役」機能～」

4) 全国難病センター研究会 第23回研究大会（高知） 【発表】

日時：平成27年2月21日（土）～22日（日）
場所：高知プリンスホテル 2階 ダイヤモンド・ホール（高知県高知市南宝永町4-2）
演題：「難病患者に対するコミュニケーション支援の症例報告の現状調査」
「難病相談・支援センターの役割について（中間報告）」

支援機関、教育機関への協力

1) 群馬大学医学部保健学科 平成26年度チームワーク実習の受け入れ

日時：平成26年6月20日（金）午前10時～10時30分
場所：群馬県難病相談支援センター

内容：難病相談支援センターの役割、活動の実際、諸機関との連携等の紹介（川尻）

- 2) 群馬県立県民健康科学大学 平成26年度「保健医療チーム連携論Ⅱ（実習）」の受け入れ
日時：平成26年7月28日（月）午前10時～12時
場所：群馬県難病相談支援センター
内容：難病療養者への支援内容および保健医療福祉チーム連携について
群馬県難病相談支援センターの事業について（川尻）

群馬県におけるコミュニケーション支援ネットワーク

- 1) 平成26年度コミュニケーション支援に関する研修会
日時：平成26年10月25日（土）午後1時～4時
場所：群馬県社会福祉総合センター B01会議室
講演1：「コミュニケーション支援～ネットワーク構築の現状と課題」
講師：成田 有吾 先生（三重大学医学系研究科看護学科 教授）
講演2：「新潟市障がい者ITサポートセンターの取り組みについて」
講師：山口 俊光 先生（新潟大学自然科学研究科；新潟市障がい者ITサポートセンター）
座長：菊地 豊 先生（脳血管研究所美原記念病院 神経難病リハビリテーション科 科長）
対象：コミュニケーション支援に関わる支援者
参加人数：70名
主催：群馬県難病相談支援センター

コミュニケーション支援専任サポーターの活動状況

1. 事業の概要
地域では保健福祉事務所の保健師が中心となり、難病療養者が適切なコミュニケーション手段を獲得するための支援を行っている。群馬県難病相談支援センターでは、平成18年6月から専任サポーターによる在宅療養者の意思伝達装置の操作を支援する訪問事業を開始した。
2. コミュニケーション支援事業
- 1) 対象者：神経・筋難病（筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症）、その他
- 2) 指導内容
- ①意思伝達方法（装置）の選択について支援者間で検討する。
②レッツチャットや伝の心のような主な意思伝達装置の指導は、〈基本プログラム〉と〈応用プログラム〉の2コース。
内容の詳細については、身体状況や能力、在宅での操作援助者の存在などの諸条件を考慮し、支援者間で検討して決定する。
③オリジナル文字版の作成
- 3) 指導回数
- 〈基本プログラム〉 レッツチャットの場合：3回
伝の心の場合：5回
〈応用プログラム〉 個別に対応。
〈オリジナル文字版〉 進行に合わせて作成
- 4) 連携している支援機関等
保健所、県立義肢製作所、市町村障害福祉課、県心身障害者福祉センター、訪問看護ステーション
パソコンボランティア、病院（OT、PT）、意思伝達装置開発者、販売会社等。

広報活動

- 1) 患者会会報に掲載
川尻 洋美 「平成26年度在宅ALS療養者コミュニケーション支援事業の報告（研修会開催）」 日本ALS協会 群馬県支部だより、P15-17, No16
- 2) 群馬県難病相談支援センターの広報を目的として、ホームページを更新（月3回）
<http://nanbyou.med.gunma-u.ac.jp/>